



# みなみ 園だより 11がつ

令和5年11月1日  
目黒区立南保育園園長

先日4, 5歳児クラスで埼玉県まで芋ほり遠足に行ってきました。細くて長い芋だったので、なかなか土の中から掘り出せず、「先生手伝ってよ」「もう抜いていいかな（まだ土に埋もれているのに）」「疲れた」「お腹すいた」「お弁当食べたい」と言いつつも、根気強くがんばって掘り、自分で掘った芋の中から4本自分で選びリュックにいれて帰ってきました。重たいけどおいしいお土産に誇らしげでしたね。

そして10月30日には保育園の南農園芋畑（前庭・鉄棒裏）にて3歳児クラスが芋ほりをしました。1本目に掘った芋はびっくりするほど大きくて「化け物みたい」とみんなに見せびらかすほどでしたが、2本目はびっくりするくらい細くて「細くてにんじんみたいだね」と苦笑い。その後も2つくっついた「双子芋」や虫にくわれて穴が開いている芋がでてくるなどユニークな芋がたくさん掘れました。ちょうど庭で遊んでいた乳児クラスの子どもたちもその様子に気が付き側までやってきましたが、土のついた真っ黒で少し紫が見えるかたまりに首を傾けている様子がかわいらしかったです。秋の味覚を楽しみ、寒さに負けない強い体を作っておきたいですね。



## 今月の行事予定

- 焼き芋会 (全園児)
- ポニー教室 (5歳児)
- 交通安全教室 (5歳児)
- 歯科検診 (全園児)
- 乳児お楽しみ会 (0,1,2歳児)
- 0歳児検診
- 身体計測 避難訓練 (全クラス)

おやつ時間、柿を一口食べた子が「きゅうり 入っているな」と一言。カリカリ食感の表現だったようです。

子どものつぶやき  
(2歳児クラス)



## 稲刈りの様子

本来ならもう少し先の予定でしたが、スズメの襲来により急遽稲刈りをする事になりました。それでも、子どもたちは楽しそうに稲を刈っています。刈った稲を手に持ち「ねえ、見て見て」と得意そうに見せてきます。

田植えから毎日水をあげ、成長過程を見ながら大切に育ててきたお米です。特別な想いがあるのではないのでしょうか。

この後に控えるおにぎりパーティーやしめ縄作りもさぞかし楽しみなことでしょう。

(用務職員)





今日は、3・4・5歳児クラスの散歩の様子をご紹介します。

### 【3歳児 でんでんむし組】

南一丁目公園につくと「かくれんぼしよう」「だるまさんが転んだやろう」「鬼ごっこやろう」と、子どもたちが誘ってきます。保育園の園庭で4、5歳児クラスのお兄さんお姉さんたちがやっている遊びを見よう見まねで遊ぶようになっています。鬼ごっこに決まると鬼決めをし、鬼役になった子が目印として帽子を裏の白色にして「1、2、3…」と10まで数え追いかけ始めます。捕まると、どんどん鬼が増えていくこともあります。鬼を交代する子もいます。いつの間にか遊びから抜けていたり、加わっていたり、ルールがあっても寛大で、あってないような部分もありますが、子どもたちは広い公園内を思い切り走って楽しんでいます。一方、鬼ごっこに参加しない子どもたちもいます。でも、楽しそうに声をあげて走っている友達の姿に、まるで一緒に遊んでいるかのように楽しそうに注目しています。

今後は、すすめのお宿公園という竹藪のある公園にも行く予定です。竹藪の陰に隠れることができ、かくれんぼにはうってつけの場所です。友達と一緒に広い場所にかくれんぼなどの簡単なルールのある遊びをたくさんしたいと思います。



### 【4歳児 こおろぎ組】

すすめのお宿公園への散歩の途中で一人の子が「前、ここにアジサイ咲いてたよね」と気づくと「ほんただ。なくなっちゃったね」と他の子も話しています。夏の間は暑さで散歩に出られず、久しぶりに行った散歩で、子どもたちは前にあじさいが咲いていたことを思い出して話していました。代わりに近くに赤い花が咲いていたので「この赤い花知ってるかな」と保育士が聞くと「知らない」との声が返ってきました。「ヒガンバナっていうの。秋の花だよ」と話すと、歩いている途中で同じ花を見つけ「なんだっけ」「秋の花」「ひがなばなだ」と嬉しそうに教えてくれます。また少し歩くと今度はふわっと花の香りがしてきました。子どもたちと嗅いでみると「いいにおいがする」と笑顔になりました。保育士が「キンモクセイのにおい。秋のにおいだね」と話すと「秋っていいにおいだね」と嬉しそうにかいでいました。キンモクセイの香りがする度に「秋のにおいがする」と鼻をくくんくさせていました。

これからは距離を伸ばしてひもんや公園まで歩く道中でも、秋探しを楽しみたいです。

### 【5歳児 とんぼ組】

田向公園やすすめのお宿公園の広場で、クラスみんなでリレーの対決をしています。2チームに分かれて作戦会議が始まります。「今日はどうしようか」「この前負けちゃったから、今度は作戦変えようよ」「最初と最後は速い人がいいんじゃないかな」「最後まで諦めないよ」と、自分の思いを伝え合い、勝つための作戦や走順を考えます。走順が決まると、自分と同じ走順の相手に「負けないぞ」「絶対勝ってやる」と拳を固めてにらみ合い、気合は十分です。対決が始まり、友達を応援する声にも力が入ります。勝負が決まると、勝って喜ぶのはもちろんのこと、負けて「悔しい」と涙を流し、「もう一回やりたい」と諦めない気持ちがあふれていました。

対決が終わった後も、「リレーしようよ」と集まっています。保育士に代わって、両腕を広げてライズマンをしたり、笛の口真似をしてスターターをしたり、自分たちで役割を見つけてなりきり、リレーごっこを楽しんでいます。遊びの中でも、子ども同士で意見やアイデアを出し合いながら、自分たちで考えて進めていく経験を積んでいけるよう、楽しんで遊んでいきたいです。

